



重要文化財消火訓練に参加しました！伊藤幼稚園

1月26日(月)は文化財防火デーです。昭和24年1月26日に現存する最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基いて昭和30年に制定されました。この日に養玉院如来寺(1635年養玉院創立、1923年如来寺と合併)で行われる消火訓練を伊藤小学校児童、伊藤保育園児とともに4歳児りす組園児が見学させていただきました。

幼稚園では、日頃から「自分の身は自分で守る」ことの大切さを伝え、そのために一人一人ができることを4月からの防災教育の中で教えてきました。この日の訓練に参加するに当たっては、自分の身を守ることはもちろん、わが国の伝統や文化など古くから大切に受け継がれてきたものを地域の皆で守る努力をしなければならないことを伝え、訓練を見学しました。

消防隊とご住職や地域ボランティアの方が協力して消火や救助に当たる姿を見て「すごい！」「カッコいい」と口を開けて見ていた園児たち。大人たちのきびきびした動きや真剣なまなざし、緊張感あふれる雰囲気を感じて、火事の怖さを感じるとともに文化財を守る大切さと防火



について学ぶ良い機会になりました。

今年は、阪神淡路大震災より20年、東日本大震災より4年目になります。危機管理は知識よりも意識からと言われます。この機会に改めて各ご家庭でも防災について考えてみてはいかがでしょうか。地域の皆様と協力して防災を進められればと考えます。(伊藤幼稚園園長 河野由紀子 記)

ウェルカムセンター原のグラウンドがリニューアル！

強風による砂塵、雨や雪の後の利用中止など近隣住民やご利用者に多大な迷惑を掛けていた当施設グラウンドが新しく生まれ変わりました。

地域からの強い要望を受け、区は昨年12月からウェルカムセンター原と社会福祉法人こうほうえんの協力のもと、防砂対策工事を実施いたしました。工事開始から三カ月弱、人工芝舗装の青々とした、気持ちの良いグラウンドにグレードアップされました。

雨が降ればグチャグチャ、霜柱が立てば泥んこ、雪が降れば何日も使用不可になる状況は大幅に改善されるとともに、幼児や小学生が安心して飛んだり、跳ねたり出来る安全な仕様になっており、子どもたちの元気な声が期待できます。今までと異なり、人工芝の特殊性や子どもの活動の場としての環境保持など、ある程度の使用に際しての制約はありますが、地域の方々の憩いの場としてご活用ください。(ウェルカムセンター原交流施設事務局長 辻田稔 記)



富士見祭 展示部門が開催されました！

2月6日(金)、7日(土)富士見台中学校にて、伊藤小学校、上神明小学校児童の作品とともに小中合同作品展として富士見祭(展示部門)が開催されました。

華やかに装飾された校門に入り、会場に向かう廊下では華道・茶道部の生花作品に迎えられました。国語の作文「絆×物」や音楽での鑑賞学習のまとめの「新聞」等、各学年共通テーマの作品は、その成長ぶりが現れた興味深いものでした。美術科や技術・家庭科での作品も多彩で、7年生のレタリングやふきん刺繍、8年生の版画やカレンダー、9年生の空想画やペンスタンド、修学旅行での漆器加飾等、中学生作品とは思えないほど完成度の高いものもありました。全校テーマによる「希望の星」の展示、生徒会からのDVD作品、可愛い小学校児童の図工作品、さらにアロマキャンドルやリースなどPTAからの作品も会場に華やかさを添えていました。また、会議室では華道・茶道部によるお点前が実演され、美味しいお茶やお菓子をいただきました。



壮大な作品を多数出品して下さった美術科の眞城先生をはじめ、各教科、各部活動の先生方の平日頃からの温かいご指導のおかげで素晴らしい作品展を鑑賞出来ましたこと、感謝申し上げます。卒業、進級まであとわずかですが、これからも児童生徒たちの活動を見守っていきたく思います。(鈴木 記)



品川の子どもたち展が開催されました！

1月23日(金)~25日(日)、品川区総合区民会館(きゅりあん)において、品川区立小中学校連合作品展「品川の子どもたち展」が開催されました。会場内は、子どもたちの生き生きとした表現や創意工夫を凝らした作品で埋め尽くされました。

会場に足を踏み入ると、まず書写の展示が目飛び込みました。硬筆から行書まで、とても丁寧に作品に取り組んだ姿勢が感じられ、中には見事な達筆の作品も点在し、レベルの高さに圧倒されました。家庭科作品では布製バッグ・巾着・ティッシュカバー・クッション・エプロン...など数えきれない可愛い作品が並び、技術作品では、木製の小物入れや本棚の完成度の高さに驚かされました。図工・美術部門では、のびのびとした筆のタッチの絵画や塑像、木彫りなど数多くの素晴らしい作品が並びます。中でも標語のポスターのメッセージは、防災や投票の呼びかけなどそのまま採用しても使えるのでは?と思う作品も多々ありました。

今回は週末開催ということで、子どもたちや家族・友人はもちろん、地域の皆様の来場も多く見受けられ、改めて品川の子どもたちは多くの温かい目で見守って頂いていると実感しました。(矢島 記)

